



ママノート Mama Note



①妊娠・分娩に関する手続き
や妊婦健診について



2023年10月改定

東京山手メディカルセンター 産婦人科
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-22-1
TEL: 03-3364-0251 (代表)

もくじ

項目	ページ数
もくじ	1
1) 母子健康手帳の申請と使用方法	2
2) 妊婦健康診査（妊婦健診）の回数と予約方法	2
がいこくじん かた ねが 外国人の方へお願い	2
3) 当院の妊婦健診の流れ	3
4) 当院で妊娠中に行う検査や保健指導、専門外来について	4
①保健指導室	5
②超音波専門外来	5
③DVD 外来	5
④出産準備クラス	5
5) 分娩に関する手続きと費用	6
①分娩予約と産科医療補償制度について	6
②分娩費用	6
③里帰り分娩について	6
④和痛分娩について	7

ご妊娠おめでとうございます

1) 母子健康手帳の申請と使用方法

妊娠 12 週以降の受診に母子健康手帳と妊婦健康診査受診票が必要です。お住まいの区役所・保健センターの窓口で妊娠届を提出し、母子健康手帳の交付を受けて下さい。(病院からの証明書の発行は必要ありません。) 交付を受けたら、ご自身が記録出来るページを記入するようにしましょう。日本語以外の母子健康手帳も交付しています。外国人の方は窓口でご相談下さい。

一緒に交付される妊婦健康診査受診票に名前・住所などを記入し毎回お持ちください。受診票をお忘れになった場合、後日会計ができない場合がありますので、ご注意ください。

出掛ける際には必ず母子健康手帳を携帯するようにしてください。

2) 妊婦健康診査(妊婦健診)の回数と予約方法

お腹の赤ちゃんの発育はめざましく、それにつれて母体にもいろいろな変化が起こってきます。妊娠中は自覚症状がなくても定期的な健康診査を受けて、異常を早期に発見しましょう。妊婦健診は必ず医師の指示通りに受診して下さい。

健診の目安 妊娠 23 週まで：4 週間ごと、妊娠 24 週～35 週まで：2 週間ごと、
妊娠 36 週以降：1 週間ごと

***定期健診にきていただけない方や無断で健診を 2 回休まれた方は、当院での分娩は安全上お受け出来ませんのでご注意ください。**

妊婦健診は完全予約制です。医師が診察時に次の予約をお取りします。

予約変更ご希望の方は月～金午後 2～4 時の間に産婦人科外来へご連絡下さい。

来院出来ない場合には必ず予約変更をお願いします。連絡なしでの受診はお受けできません。

外国人の方へお願い

当院では日本語で診療を行っています。スタッフが日本語でのコミュニケーションが困難と判断した場合には、通訳の方に毎回受診や分娩時つき添いをお願いしています。(通訳者はできる限り同じ女性の方をお願いします。) また、入院中もスタッフが必要と判断した場合通訳の方に来ていただける場合のみ当院での分娩をお引き受けします。ご協力をお願いします。

スマートフォンで翻訳アプリやサイトが使用できると、受診時のコミュニケーションがスムーズに進みます。あらかじめ準備をお願いします。

女性医師希望の場合でも、緊急時や分娩時は希望に添えないことがありますのでご了承下さい。

宗教上の理由でハラルミルクを使用したい、など希望がある場合には妊娠中にご相談ください。

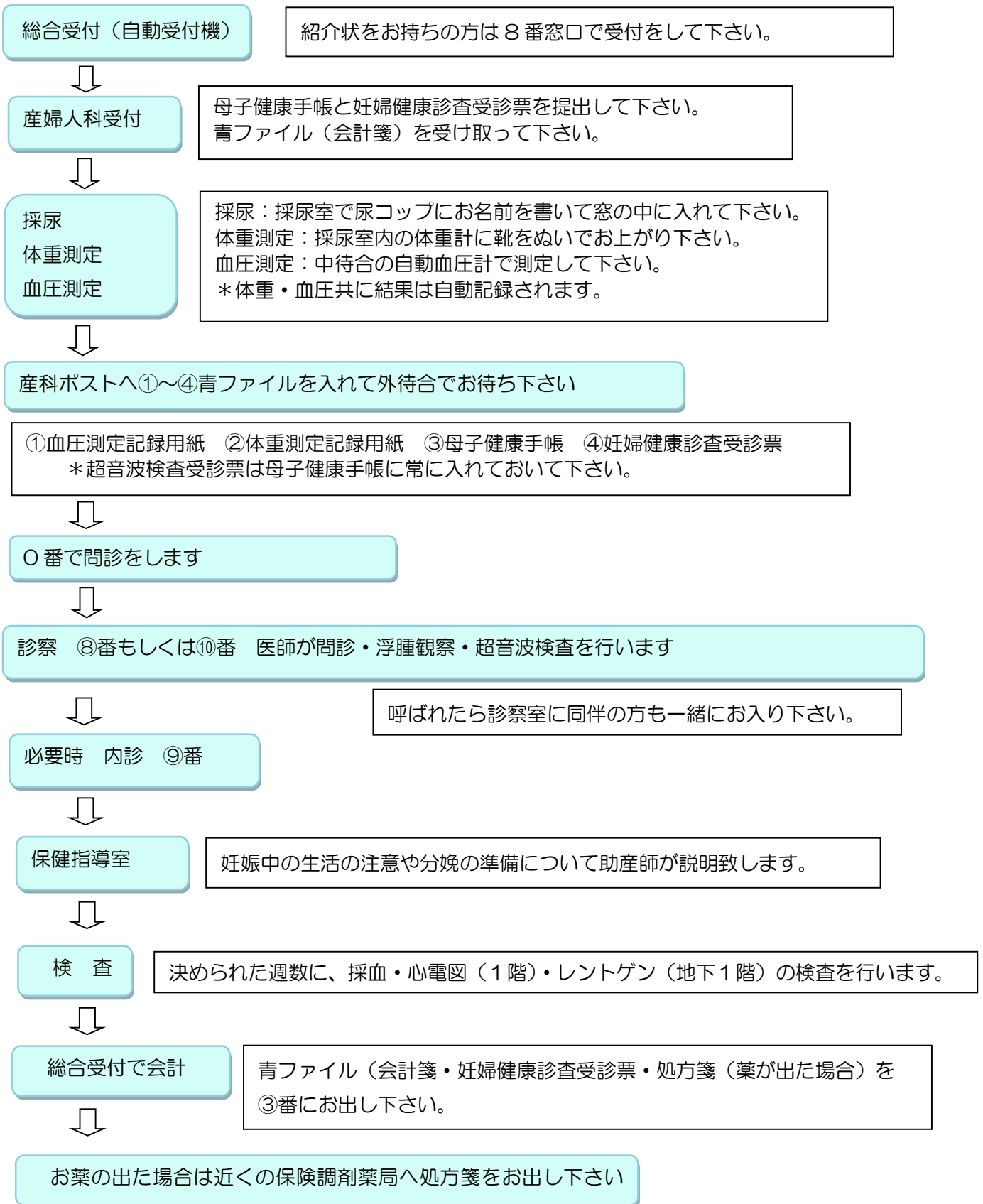
妊娠、出産に関しての情報が 18 言語でダウンロードできるサイトがあります。

「多文化医療サービス研究会-RASK(ラスク)-」(<http://rasc.jp>)

ぜひご利用ください。



3) 当院の妊婦健診の流れ








4) 当院で妊娠中に行う検査や保健指導、専門外来について

*検査費用の詳細は、産婦人科外来に掲示してありますのでご覧ください。

【妊婦健康診査受診票の使用】東京都の場合の受診票の色を示しています。

お住まいの地域によって色や使用方法が異なる場合があります。

妊娠週数	検査項目	保健指導などの項目 ■は提出書類	妊婦健康診査受診票
妊娠初期	子宮頸がんの細胞診		
12~15週	初期血液検査 血液型・不規則抗体 *1梅毒血清反応 HBs抗原（B型肝炎） HIV抗体（エイズ） HCV抗体（C型肝炎） HTLV-1抗体（ヒト成人T細胞性白血病） 風疹ウイルス抗体・貧血・生化学	保健指導資料配布 母子健康手帳の申請方法 妊婦健康診査の受診方法 妊娠初期の生活の注意 出産準備クラスのご案内	 
20週頃	超音波専門外来（希望者のみ） *妊婦超音波受診票は使用不可	乳房の手当て 出産準備クラス受講のご案内	
24週頃	中期血液検査等 *2 50g GCT（糖尿病スクリーニング） 血液検査（貧血・凝固） 心電図 クラミジア抗原（膣分泌物検査）	妊娠後期の生活の注意 貧血・切迫早産 妊娠高血圧症候群の予防 <input type="checkbox"/> 産科医療補償制度の説明 <input type="checkbox"/> 分娩予約の説明	 
30週頃		■産科医療補償制度申込み 分娩予約開始	
32週頃	<input type="checkbox"/> 子宮収縮薬による陣痛誘発・陣痛促進 についての説明と同意書説明		
35週	後期血液検査等 血液検査（血液型・貧血） B群溶血性連鎖球菌（膣分泌物検査）	分娩開始徴候と入院の時期 分娩の準備確認 帝王切開の場合の日程説明 ■子宮収縮薬同意書回収	 
36週~ 分娩まで 毎週	胎児ノンストレス検査		 
産後 2週間			
産後 1カ月	産後サポート外来	育児相談・乳房のチェック	
	検尿・血圧・体重測定・内診	生活の注意・産後の家族計画 育児・母乳相談	

*1感染症の有無検査するために、ご本人に同意書をいただいております。

*2妊娠糖尿病の検査です。

①保健指導室

助産師が妊娠初期から産後までの生活上の注意点や分娩の準備などをお話しています。
時期としては12週頃・20週頃・28週頃・34週頃、産後1ヶ月健診です。
それ以外でも何か相談したいことなどある場合には、お気軽にお立ち寄り下さい。

②超音波専門外来

胎児の異常を早期に発見する目的で超音波スクリーニングを行っています。
また、母体の乳腺や下肢深部静脈血栓のスクリーニングを行っています。

対象者：妊娠20週前後の方

診察日：月・水・金の午後

料金：有料（超音波専門外来のため妊婦健康診査受診票は使用できません。）

申し込み場所：産婦人科外来受付

※当日はお腹や膝が露出しやすい服装でお越し下さい。

③DVD 外来 ⇒現在中止中。再開時期は未定です。

胎児の成長の超音波画像をDVDに記録する外来です。DVD録画は助産師が行いません。診察や診断は行いません。1回につき約5分程度録画します。

対象者：当院分娩予定の方

料金：有料

申し込み場所：産婦人科外来受付

*DVDディスク（DVD-RW）はご本人に用意していただいております。当院の2階の売店でも販売しています。

④出産準備クラス

開催日：第1月曜日（満席の場合のみ第3月曜日も開催）

時間：14:00~15:30

場所：5階西病棟 多目的室（当日、看板が出ていますので案内通りにお進みください。）

対象者：当院分娩予定の方（35週までに受講してください）

立ち会い出産をご希望のご主人様・パートナーの方は受講必須となります。

申し込み場所：産婦人科外来受付 予約は30週からお受けします。

受講料：一人1,000円（ペアで2,000円）

内容：分娩の経過・病院に電話するタイミング・立ち会い分娩における注意事項・病棟見学
出産準備クラス当日の手続きの方法

総合受付で受講料の支払いを済ませて頂き、5階西病棟の多目的室へエレベーターでお越し下さい。

産婦人科外来への立ち寄りは不要です。

*詳細は保健指導室でお尋ねください。

5) 分娩に関する手続きと費用

①産科医療補償制度について

当院での分娩を希望される方は、妊娠 33 週までに分娩の予約と産科医療補償制度への加入の手続きが必要です。

1 階正面玄関横の「入退院受付」にて予約手続きをいたします。「診察券」と「産科医療補償制度登録証（3 枚つづり）」をお持ちになり入退院事務室にお越し下さい。

分娩費用は、出産後にお支払いいただきます。産科医療補償制度からの「出産育児一時金」を分娩入院費用にあてますので退院時、不足分をお支払い下さい。

☆「産科医療補償制度とは？」

分娩に関連して発症した重度の脳性麻痺のお子さまと、ご家族の経済負担を速やかに補償するとともに原因分析を行い、再発防止・紛争防止の早期解決をはかり産科医療の質の向上をはかることを目的としています。詳しくは分娩予約時にお渡しするパンフレットを参照下さい。

②分娩費用

* 入院期間は経過が正常な場合です。

* 経膈分娩：6日間入院 約 50 万円

* 帝王切開：9日間入院 約 60 万円

* 2023 年 9 月現在の費用です。

分娩費用に、出産育児一時金を充てています。差額分を出産後、退院時にお支払い下さい。

③里帰り分娩について

* 当院へ里帰り分娩される方へ

20 週頃に紹介状をお持ちになり一度受診して下さい。それから 31 週～32 週までは前医で健診を受けていただき、**34 週からは当院の健診になります。**ただし、逆子（骨盤位）や前回帝王切開術だった方は 32 週頃までに電話予約の後ご来院ください。当院では双子・前置胎盤の方は分娩予約をお受けしておりません。

* 当院を受診中で地方へ里帰りをお考えの方へ

下記 6 項目についてご自分で確認しておきましょう。

- ①里帰り先の病院の分娩予約がとれるか？
- ②いつごろ、里帰り先の病院を受診すればよいか？
- ③最終的にいつ（何週頃）里帰りすればよいか？
- ④逆子（骨盤位）だった場合の里帰り時期はいつ頃か？
- ⑤紹介状（日本語または英文）は必要か？

当院での最終健診日の 14 日前までにお申し出ください。

最終健診日に紹介状（検査データ添付）をお渡しします。（有料）

⑥航空診断書は必要か？

妊娠後期ほとんどの航空会社は搭乗の際、72 時間以内の航空診断書が必要になります。（有料）

航空会社指定の用紙がある場合はご持参下さい。航空会社により診断書が必要な週数の時期が異なりますので早めに確認をしておいてください。**36 週になると飛行機に搭乗できません。**

④和痛分娩について

当院では、経産婦さんを対象とした計画和痛分娩を開始しました。

＊対象者＊

- 経産婦（前回分娩から10年以内）
- 帝王切開の既往がない方
- 十分な日本語理解ができる方とパートナー
- 計画分娩に承諾していただける方

産婦人科医、麻酔科医と面談後ご検討いただきます。詳細は産婦人科外来でお尋ね下さい。